

関西医科大学附属病院眼科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 三叉神経麻痺が眼表面に及ぼす影響～角膜上皮下神経叢、結膜囊微生物、涙液炎症性ケモカインの検討～

《共同研究の代表機関名・研究代表者》 関西医科大学附属病院・眼科 准教授 佐々木香る

《研究の目的》、種々の原因による麻痺性角膜炎において、眼表面や眼内に生じた変化を明らかとし、角膜上皮障害や角膜感染症の発症予防に役立てる情報を得ることで、一生涯の疾患である麻痺性角膜炎の視力予後の保持につながる病態解明を目指す。

《研究期間》 西暦2020年6月19日～西暦2025年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

関西医科大学附属病院眼科に受診中の患者のうち、頭蓋内病変により片眼性三叉神経麻痺を来した患者さんあるいは片眼性に緑内障点眼を6カ月以上使用している患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、前眼部所見、眼底所見、検査結果（培養検査、画像検査）等

《外部への試料・情報の提供》

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

《研究組織》 共同研究機関1：慶応義塾大学眼科学講座 特任准教授 村戸ドール

共同研究機関2：国立国際医療研究センター 肝疾患先端治療研究室長 由雄祥代

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

当院における研究責任者および研究内容の問い合わせ担当者

関西医科大学附属病院

大阪府枚方市 2-3-1

電話 072-804-0101 (代表) FAX 072-804-2039

研究責任者：眼科 准教授 佐々木香る